

IF 学成果発表会③ 感想

「疫学とTR」
グループ 9/15



他分野の研究発表を聞く機会はほとんどなかったので大変興味深かったです。普段とは違う目線からの指摘を受けて新たな着想も生まれる可能性がある会だと思いました。
高橋 尚美 (婦人科学)



司会・張替秀郎先生

西田幸一先生



学成果発表会では、自分の発表の至らない点を気づくとともに、他科の先生方の発表を聞く機会を得て、大変有意義でした。この経験を予備審査の発表に生かせたらと思っています。

他の分野の先生方が、素朴に疑問に思うことを率直に知ることができる場として、とても有意義な会であると思いました。このような機会が、在学中にも年1回程度もてれば、

研究活動の悩みや行き詰まっていることなど、研究問題を共有し解決できる場になるかと思います。最後になりましたが、御指導くださいました先生方、お集まりいただきました諸先生、拠点支援室の皆様にも、深く御礼申し上げます。

門馬 靖武 (先進漢方治療医学)



三浦 由希子
(血液・免疫学)



五十嵐和彦先生

まず他科の先生方の研究発表を聞くことができたのは有意義でした。細かい部分まで理解するのは非常に難しいと感じましたが、特に研究題材の選択やデザインの仕方を色々知ることができ、また自分の研究に応用してみたいと思う研究もあり、大変勉強になりました。自分の研究は医学系というより工学系の仕事でご理解頂くのはなかなか難しいかと思いましたが、興味を持って聞いて頂けた様で大変有難かったと思っています。研究のヒントを頂いたのも良かったと思います。またこのような機会がありましたら是非参加させて頂き、研究進展のヒントとしたいと思います。ありがとうございます。
田中 佑治 (眼科・視覚科学)



他の科の先生方の研究発表を聞く機会がこれまでなかったため、わからないながらももしろく感じました。プロジェクターなどの準備をそれなりにしておいていただきたいと感じました。

廣木 恵理
(婦人科学)

私は3名の座長だけで失礼しましたが、他科の大学院生の研究内容を見る機会はなかなかないですから、新鮮で楽しかったです。内容も皆さんしっかりしていたと思います。さらに充実した研究を進められるよう期待しております。

座長・井上彰先生

「疫学とTR」グループ

H21.9.15 14:00~
医学部臨床講義棟第1ゼミナール室

開会の挨拶 張替 秀郎 教授
(血液・免疫学分野)

研究発表

【第1部】 座長・・・井上 彰 先生 (呼吸器病態学分野)

1. Clinicopathological Features of Malignant Lymphomas in Miyagi
三浦 由希子 (血液・免疫学分野)
2. Local Biosynthesis of Estrogen in Human Endometrial Carcinoma through Tumor-Stromal Cell Interactions.
高橋 尚美 (婦人科学分野)
3. Changes in Microma Expression Levels Correlate with Clinicopathological Features and Prognoses in Endometrial Serous Adenocarcinoma Patients
廣木 恵理 (婦人科学分野)

【第2部】 座長・・・横山 寿行 先生 (血液病理学寄附講座)

4. Light Transmissive Aligned Collagen Hydrogel for Tissue Engineering of Cornea 田中 佑治 (眼科・視覚科学分野)
5. Aberrant Behavior of Mouse Embryo Development after Blastomere Biopsy as Observed through Time-Lapse Cinematography
宇賀神 智久 (婦人科学分野)
6. Gestational Stage- and Sex-Specific Impacts of Maternal Folate Deficiency on Fetal Growth and Epigenetic Regulation
松田 尚美 (婦人科学分野)
7. Dietary patterns associated with fall related fracture in elderly Japanese : a population based prospective study (Tsurugaya study)
門馬 靖武 (先進漢方治療医学分野)

閉会の挨拶 張替 秀郎 教授



座長・横山寿行先生



普段あまり知る機会のない、他分野の先生方の研究を知ることができ、勉強になりました。分野別だから仕方ないのかもしれませんが、今回は4人の演者が産婦人科ということもあり、話の内容としては普段のディスカッションで聞きなれている部分もあったので、その際はやや退屈してしまいました。分野がばらばらの方が、個人的には面白かったと思います。

宇賀神 智久 (婦人科学)



産婦人科同期の発表でよい刺激をうけ、またなかなか知る機会のない他科の先生方の発表を聞くことができ、大変有意義でした。

松田 尚美
(婦人科学)

